

絵画と写真

# 「光」をみつめて…。

釧路芸術館コレクション選

2017年 2月11日（土）～ 3月29日（水）

4月1日（土）～ 4月19日（水）



岩橋英逸《彩雲》1979(昭和54)年、当館蔵

## I. 大自然を舞台に—光のダイナミズム

「光」は、はるか彼方の太陽や月、数々の星から地球にもたらされます。あらゆる自然現象の根源でもある太陽の「光」は、人知を超えた壮大な自然を彩り、刻々と変化しとどまることはありません。また、夜空に輝く月や星は、悠久のロマンをかき立てます。

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	川田喜久治	ラスト・コスモロジー：部分日蝕	1987 (昭和62) [プリント: 1995]	ゼラチン・シルバー・プリント	51.6×34.4
2	川田喜久治	ラスト・コスモロジー：12の太陽	1992 (平成4) [プリント: 1995]	ゼラチン・シルバー・プリント	34.3×51.5
3	川田喜久治	ラスト・コスモロジー：暈の都市	1991 (平成3) [プリント: 1995]	ゼラチン・シルバー・プリント	34.3×51.2
4	川田喜久治	ラスト・コスモロジー： カシオペアの日周—立山	1992 (平成4) [プリント: 1995]	ゼラチン・シルバー・プリント	50.6×38.2
5	川田喜久治	ラスト・コスモロジー： テレビ・アンテナと三日月	1989 (平成元) [プリント: 1995]	ゼラチン・シルバー・プリント	34.3×51.7
6	川田喜久治	ラスト・コスモロジー：月の軌跡	1989 (平成元) [プリント: 1995]	ゼラチン・シルバー・プリント	51.2×34.3
7	杉本 博司	SEASCAPES: Sea of Japan, Rebun Island	1996 (平成8)	ゼラチン・シルバー・プリント	41.5×54.3
8	杉本 博司	SEASCAPES: Sea of Japan, Hokkaido 1	1986 (昭和61)	ゼラチン・シルバー・プリント	41.5×54.3
9	マイケル・ケンナ	屈斜路湖	2009	ゼラチン・シルバー・プリント	20.2×19.6
10	マイケル・ケンナ	タウシュベツ、糠平	2008	ゼラチン・シルバー・プリント	19.0×20.2
11	マイケル・ケンナ	女満別	2009	ゼラチン・シルバー・プリント	20.0×20.0
12	水越 武	ホテルが集まる木 (インドネシア、イリアンジャヤ)	2000 (平成12)	タイプCプリント	46.0×69.0
13	水越 武	森の夜 (コンゴ共和国、ヌドキ)	2000 (平成12)	タイプCプリント	46.0×69.0
14	水越 武	日の出 (パキスタン、カラコルム)	1979 (昭和54)	タイプCプリント	80.0×120.0
15	水越 武	暈をかぶる太陽 (白神山地)	1996 (平成8)	タイプCプリント	46.0×69.0
16	水越 武	亜高山帯の針葉樹林 (北八ヶ岳)	1986 (昭和61)	タイプCプリント	65.0×100.0
17	アンセル・アダムス	ポートフォリオ VII： アスペンの木	1958	ゼラチン・シルバー・プリント	45.6×57.7
18	アンセル・アダムス	ポートフォリオ VII： 白い枝	1950	ゼラチン・シルバー・プリント	49.4×38.8

19	アンセル・アダムス	ポートフォリオ VII: ハーフトーム 舞い散る雪	1955頃	ゼラチン・シルバー・プリント	39.6×49.5
20	アンセル・アダムス	ポートフォリオ VII: エル・キャピタン 冬の日の出	1968頃	ゼラチン・シルバー・プリント	48.9×39.3
21	アンセル・アダムス	ポートフォリオ VII: トム山の日の出	1948頃	ゼラチン・シルバー・プリント	39.5×48.7
22	羽生 輝	冬日(悠々釧路湿原)	2015(平成27)	合板彩色・額	181.0×227.3
23	秋岡 美帆	光の間(あわひ)	1996(平成8)	雲肌麻紙・スキャナグラフ (NECOプリント)	220.0×275.0
24	千住 博	ウォーターフォール	1997(平成9)	紙本彩色・パネル	162.0×454.0
25	岩橋 英遠	彩雲	1979(昭和54)	紙本彩色・額	149.8×210.5
26	嶋崎 誠	縄文のベクトル	2002(平成14)	ガラス:パート・ド・ヴェール	高さ:68.0

## II. 日常とその周辺—光がかもす詩情

太陽の「光」は、各地域や季節、時間帯によって異なった様相をみせ、私たちの身近な風景や都市の景観、生活の場面にさまざまな表情をもたらします。また、明暗の対比によって生み出される「光」の微妙なニュアンスから、豊かな詩情がかもし出されるのです。

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
27	居島 春生	森	2001(平成13)	卵黄テンペラ・キャンバス	53.0×80.3
28	山田 泰	春蕾似雷	2002(平成14)	油彩・キャンバス	194.0×394.0
29	伊藤 正	厚岸の浜	1969(昭和44)	油彩・キャンバス	112.0×145.1
30	羽山 雅倫	黄昏・釧路(00-3)	2000(平成12)	油彩・キャンバス	130.3×194.0
31	上田 薫	流れ S	1997(平成9)	油彩・キャンバス	162.0×215.0
32	森永 純	河—累影	1961(昭和36) [プリント:1999]	ゼラチン・シルバー・プリント	30.7×44.4
33	森永 純	河—累影	1978(昭和53) [プリント:1979]	ゼラチン・シルバー・プリント	29.1×43.0
34	森永 純	河—累影	1960(昭和35) [プリント:1979]	ゼラチン・シルバー・プリント	29.1×43.0
35	森永 純	河—累影	1960(昭和35) [プリント:1979]	ゼラチン・シルバー・プリント	31.9×37.0
36	長倉 洋海	犬ぞりで猟に出るイヌイット	2010(平成22)	ラムダプリント	100.2×150.1
37	長倉 洋海	アラップの市場にて	2007(平成19)	ラムダプリント	100.1×150.1
38	森山 大道	「暁の1号線」より [三重県四日市市桑名]	1967(昭和42) [プリント:1981]	ゼラチン・シルバー・プリント	31.2×41.0
39	森山 大道	「光と影」より	1981(昭和56)	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×54.8
40	森山 大道	「光と影」より:靴	1981(昭和56)	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×54.8
41	森山 大道	「光と影」より	1981(昭和56)	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×54.8

### Ⅲ. 「神は細部に宿る」－光があかす真相

「神は細部に宿る」とは、細部まで精魂込めて設計に携わるべきという近代建築家の標語です。普段は見過ごされがちな細部も「光」によって際立ちます。そうした細部に自然の神秘や社会の真実をかいまみることができるのではないのでしょうか。

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
42	伊奈 英次	WASTE: 混ぜ合わされたインク、 福島県いわき市	1996 (平成8) [プリント: 1996]	タイプCプリント	100.0×125.0
43	伊奈 英次	WASTE: 銅箔、長野県中野市	1996 (平成8) [プリント: 1996]	タイプCプリント	80.0×100.0
44	川田 祐子	海底の春 LE PRINTEMPS AU FOND DE LA MER	2001 (平成13)	アクリルグアッシュ・キャンバス	194.0×390.9
45	徳丸 滋	枯むぐら	1988 (昭和63)	油彩・キャンバス	162.1×162.1
46	畠山 直哉	Slow Glass: #021	2001 (平成13)	タイプCプリント	90.0×120.0
47	畠山 直哉	Slow Glass: #065	2001 (平成13)	タイプCプリント	90.0×120.0
48	高坂 和子	林の光景	1991 (平成3)	油彩・キャンバス	162.1×130.7
49	猪瀬 光	INOSE Kou 1982-2000	1985 (昭和60)	ゼラチン・シルバー・プリント	21.0×31.5
50	猪瀬 光	INOSE Kou 1982-2000	1983 (昭和58) [プリント: 2002]	ゼラチン・シルバー・プリント	21.0×31.5
51	猪瀬 光	INOSE Kou 1982-2000	1986 (昭和61)	ゼラチン・シルバー・プリント	21.0×31.5
52	猪瀬 光	INOSE Kou 1982-2000	1994 (平成6)	ゼラチン・シルバー・プリント	21.0×31.5
53	松江 泰治	LESOTHO AFRICA 1995	1995 (平成7)	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.8
54	松江 泰治	AUSTRARIA 1996	1996 (平成8)	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.8
55	普後 均	FLYING FRYING PAN	1990 (平成2) [プリント: 2000]	ゼラチン・シルバー・プリント	36.2×54.2
56	普後 均	FLYING FRYING PAN	1983 (昭和58) [プリント: 2000]	ゼラチン・シルバー・プリント	36.2×54.2

\* 寸法は、特記以外は、縦×横。  
\* no.22は、作者蔵。

〇〇〇 会期中のイベント 〇〇〇

●ギャラリー・トーク

2月18日(土)、3月18日(土)  
「彫刻家・米坂ヒデノリの生涯と作品」

3月4日(土)  
「上田薫とスーパーリアリズム」

3月11日(土)、3月25日(土)  
「千住博—《ウォーターフォール》の画家」

講師: 当館学芸員  
時間: 各日、午後2時～(約30分)  
会場: 当館展示室  
(要観覧券、米坂展は観覧券不要)

●ギャラリー・コンサート

「フルートで奏でる空のひかり」

2月12日(日)  
出演: 田中美衣氏(フルート)、内ヶ島正之氏(フルート)  
時間: 午後2時～(30分)

「さまざまな光」

3月26日(日)  
出演: 泉 洋子氏(ソプラノ)、下田 円氏(ピアノ)

時間: 午後2時～(30分)  
会場: 各日とも当館展示室(要観覧料)

●ミュージアム・セミナー

東西美術に見る〈光〉三題

2月16日(木)  
「バロック絵画の光と闇—レンブラントを中心に」

2月23日(木)  
「魅惑の世紀末美術—退廃の美・妖しいきらめき」

3月2日(木)  
「浄土の光を求めて—平等院と極楽往生」

講師: 当館学芸員  
時間: 各日、午前11時～12時  
会場: 当館アートホール(聴講無料)

●アートシネマ館

2月25日(土)  
「ミツバチのささやき」  
(監督: ビクトル・エリセ /1973年/99分)

時間: 午前10時～/午後2時～(2回上映)  
会場: 当館アートホール(入場無料)

※このほかにもいろいろなイベントがあります。  
詳しくは、芸術館ホームページをご覧ください。



北海道立釧路芸術館